

# 草加市総合教育会議議事録

令和 2 年 度

## 令和2年度草加市総合教育会議

令和3年2月15日（月）午後1時から

紅藤カナダビル職員研修室（2階）

### ○議 題

協議・調整事項 新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の学びの保障について

---

### ○出席者

市 長	浅 井 昌 志
教 育 長	高 木 宏 幸
教育長職務代理者	小 澤 尚 久
教 育 委 員	加 藤 由 美
教 育 委 員	宇 田 川 久 美 子
教 育 委 員	川 井 か す み
教 育 委 員	山 本 好 一 郎

### ○説明員

指 導 課 長	山 村 一 晃
---------	---------

### ○事務局

総合政策部長	多 田 智 雄
総合政策課長	平 木 勇 二
総合政策課主事	三 浦 康 平
教育総務部長	青 木 裕
教育総務部副部長	河 野 健
教育総務部副部長	福 島 博 行
総務企画課長	名 倉 毅

総務企画課課長補佐  
(兼)庶務企画係長  
指導課課長補佐

山 岸 亮  
吉 田 佳 恭

○傍聴人 0人

---

午後1時 開会

◎開会の宣言

○総合政策部長 ただ今から、令和2年度草加市総合教育会議を始めさせていただきます。

本日の司会を務めさせていただきます、総合政策部長の多田でございます。どうぞよろしく  
お願いいたします。

開会に先立ちまして、傍聴の許可の確認をさせていただきますが、現在、傍聴者の方はいら  
っしゃいません。傍聴希望者の方がいらっしゃった時点で、改めて報告させていただくこと  
でよろしいでしょうか。

○浅井昌志市長 はい。

---

◎配付資料の確認

○総合政策部長 それでは、本日の協議・調整事項に入ります前に、お配りしております資料  
の確認をさせていただきます。

会議次第、新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の学びの保障についてと記載され  
ました資料、以上でございますが、皆様、資料はおそろいでしょうか。

よろしければ、これから議事に入らせていただきます。議事進行につきましては、浅井市長  
をお願いいたします。

---

◎議案審議

○浅井昌志市長 それでは、議長を務めさせていただきます。どうぞよろしく  
お願いいたしま  
す。

次第に基づきまして進めてまいります。まずは、事務局より協議・調整事項の内容について  
説明をお願いします。

---

◎協議・調整事項の説明

○総合政策課長 それでは、協議・調整事項につきましてご説明いたします。

本日の協議・調整事項は、「新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の学びの保障に  
ついて」でございます。

今年度、新型コロナウイルスの感染症の影響で、小中学校では約2か月にわたり臨時休業が  
実施されました。これまで、子どもたちに切れ目のない学びを提供できるよう、様々な取組を

行ってきたところです。

そこで、これまでの対応と今後についてご説明させていただくために、協議・調整事項とさせていただきます。

説明は以上でございます。

○浅井昌志市長 ただ今、事務局から協議・調整事項についての説明がありましたが、委員の皆様、ご質問等はございますでしょうか。

---

◎協議・調整事項 新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の学びの保障について

○浅井昌志市長 それでは、協議・調整事項について、事務局より説明をお願いいたします。

○指導課長 それでは、新型コロナウイルス感染症対策に伴う児童生徒の学びの保障について説明させていただきます。

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、今年度は、年度初めから臨時休業となり、入学式が6月に行われ、例年と違うスタートとなりました。

このような状況で、新型コロナウイルス感染症対策に伴う4月、5月の臨時休業中の学びの保障としましては、各学校の指導計画に基づき、教科書を併用した家庭学習を課し、臨時休業中であっても正しい生活習慣を身に付けられるよう、各学校が学習計画を立てたり、子ども自身に学習計画を立てさせたりしながら、学習の習慣づけを図ってまいりました。また、動画の作成や学習支援サイトを各学校のホームページに貼り付けたりしながら、家庭学習に取り組みました。課題の配布や提出につきましては、昇降口の下駄箱を利用したり、登校する時間を分けたりするなど、3密を避ける形で課題の配布、回収、点検をすることで学習状況を確認しながら新たな課題を作成することで、学びを前へ進めてまいりました。また、子どもたちの運動する機会を確保するために、平日の午前と午後、2回に分けて各校の校庭を開放いたしました。

次に、現在のコロナ禍における学びについて説明をさせていただきます。

まず、各学校では、児童生徒の3密を避けるため、web会議システムを使ったオンラインでの朝会や校内授業研修会、放送による全校朝会等を実施している学校が多く見られることが挙げられます。また、現在、教育委員会主催の各種研修会や校長会議等もweb会議システムを使ってオンラインで開催しております。

次に、対話的な学びについて説明をさせていただきます。学校再開後の当初は、子どもたち

の話合い活動は制限されておりましたが、マスクの着用と一定の距離を取ることを基本に、フェイスシールドや飛沫感染防止ボードの活用を通して、話合いの環境を整備することで授業中に対話的な学びができるよう努めていたところでございます。なお、飛沫感染防止ボードは折り畳み式で持ち運びができ、市内全児童生徒に配布されております。部活動につきましては、中学校総合体育大会が中止となりましたが、代替の市内大会を、交流戦という形で実施いたしました。また、9月下旬からは、新人戦も実施いたしました。さらに、10月20日には、市内駅伝大会を実施し、男女の優勝チームが県大会にも出場をしております。また、授業時数を確保するために、夏休みや冬休みなどの長期休業期間の短縮やサタデースクールの半日授業から1日授業の実施、学校行事等の見直しを行いました。学校行事では、修学旅行を宿泊を伴うものから日帰りのものに変更したり、運動会は、学年別に時間をずらしたりするなど、工夫して代替の行事を実施しております。現在は、新型コロナウイルス等で臨時休業や学級閉鎖になっても子どもたちの学びが止まらないよう、児童生徒一人ひとりにアカウントを発行し、学習用のアプリケーションを活用した学びができるようになりました。実際に、学級閉鎖になった際には、学校と家庭をつなぐオンラインで児童生徒の健康観察などを実施することで、児童生徒とコミュニケーションが取れるようになりました。また、現在では、多くの教職員が集まらないように、教職員がオンライン会議に慣れることも目的としながら、積極的にオンラインによる研修会等を進めております。

最後に、1人1台端末と高速通信環境による学びの変容について説明させていただきます。

個に応じた指導とグループ学習の充実を図るため、タブレット端末の整備、電源キャビネットの設置、学習者用アプリケーションの活用、無線LANアクセスポイントの設置、通信回線速度の整備、モバイルWi-Fiルーターの購入を進めております。タブレット端末の整備につきましては、現在、小学校8校、中学校は全校で1人1台タブレット端末の整備等が済んでおります。学習者用アプリケーションの活用につきましては、タブレットで写真や動画、記事などを集め一人ひとりが独自の視点で情報を編集したり、一人ひとりに別々の課題を同時に与えたりすることで、これまで以上に充実した個に応じた指導が実現いたします。さらに、各自の考えを即時に共有し、協働で編集したり、友達の多様な意見にも即時に触れたりすることで、よりグループ学習の充実をさせることができます。また、教室の中にとどまらず、例えば、残念ながら今年度は訪れることができなかった奥日光自然の家の管理人と奥日光の自然の様子について直接インタビューをすることが可能となるなど、外部の方とこれまで以上につながるができるようになりました。モバイルWi-Fiルーターの購入につきましては、通信環

境の整わない家庭に対する支援として、例えば、臨時休業や学級閉鎖になった際のオンライン授業をはじめ、病気や怪我など何らかの理由で学校に登校できない児童生徒や、配慮を要する児童生徒に対して学びの機会を保障することができます。このように、1人1台端末と高速通信環境の実現により、子どもたちの学びが変わり、教育効果を大いに高めることができます。

今後の課題といたしましては、現在、積極的にICT機器を活用した教育活動が展開されているところではありますが、今後もICT機器を活用するための教職員の能力を高めるための研修を充実させることが挙げられるところでございます。

説明は以上でございます。

○浅井昌志市長 ただ今、事務局から説明がありましたが、この件につきまして皆様からの意見を伺いたいと思います。

○山本好一郎委員 今、ご説明で対話的な学び、これも感染防止ボード等を活用して進められるようになったというお話でした。各学校で非常に努力をされていると思います。

子どもたちが学校に来て共に学ぶということがいかに大切なことなのか、改めて感じた期間だったと思います。ただ、一つ言えるのは、学校がみんなで共に学ぶということの大切さを、今、先生方も、子どもたちもすごく感じていると思うので、子どもたち同士でお互いの良さを認め合う、先生も子どもたちを認めてくれる、そういったものを絶やすことなく、もっとそれを広げていくような動きも、整備と同時に必要なことではないかと感じます。

特に、こういう状況になると学力、学習機会ということが前面に出されますが、子どもたちは、全人格的に、学校場で成長していくので、そういったものにつなげていけるような、市全体で子どもたちを認めていくということをとにかく絶やさない、それを更に充実させていくという方向がすごく大事だと感じました。

○宇田川久美子委員 GIGAスクール構想ということもあり、それぞれが端末を持つところで、家庭の中でオンライン環境がないご家庭にも支援をしていくということですが、先が見えない今となつては、みんなで学習をするということはもちろんですが、各家庭でいうところも充実していかなければいけないという状態なので、例えば、学習意欲があっても学校に行けないという子どもが、Zoomなどで参加をするような事例などは今までなのか、もしなければ、今後は、学級閉鎖で学校には行けない先生をはじめ、全員が自宅から一つの教室という形で放送もできると思うのですが、具体的な取組は、どのようになっているのでしょうか。

○指導課長 現在、把握しているところでは、双方向型の授業や、オンラインを使つての授業実践の報告は上がってはきておりません。

ただ、学級閉鎖になった学校が、健康観察ということで、朝の会の時間を使って、担任が自宅から子どもたちの健康観察をしたという取組が大変有効だったという報告は受けているところでございます。いずれにしましても、現在、双方向型の授業ができる環境は整っているところでございます。

○宇田川久美子委員 ありがとうございます。整っているということであれば、今までは学級閉鎖と聞くと、閉鎖というイメージでしたが、こういう環境になって、そうではなくなって、双方向で意思を届け合えるということが分かったので、総合的な授業が、きっとできていっていると思うので、積極的に捉えていただければと思います。

○小澤尚久教育長職務代理者 今、オンラインを使って家庭で端末をとということで説明をいただきましたが、環境整備が急速に進んできて、いろいろな可能性が広がってきて、大変うれしく感じているところです。ただ、4月、5月の臨時休業中を含めて、一人ひとりの学習のつまずき等への対応の時間が、取りにくくなっていたところは否めないと思います。そのところを考えると、それを乗り越えることなく、今だから定着度などをもう一回、各学級や学校でしっかり把握した上で、年度末に向けて、その年度に行っておくべきものをできる限り、つまずき等も含めて、個々への指導を徹底する期間かと思っています。そうすることによって、次の学年へ安心して子どもたちも、先ほど切れ目のないというお話もありましたが、進めるとは思いますので、できるだけスムーズに次の学年へつなげられるように配慮していく必要があると感じているところです。

もう一点は、学びの保障を支えるに当たって、新型コロナウイルスに感染した児童生徒、保護者の方、教員も含めて、メンタルのケア、フォローも必要かと思っています。今のところ、それが基で、何か不登校に陥ったという事例は聞いておりませんが、これから、どなたもそういう危険性を持ち合わせています。また、不安に日々過ごしていらっしゃる先生方と児童生徒、保護者の皆さんもいらっしゃると思います。今、県の方で相談窓口は開かれています。学校や市の方に相談があったときに、しかるべき対応ができるような体制づくりを今後も考えていく必要があるかと考えています。

○高木宏幸教育長 GIGAスクール構想を踏まえて対応しなくてはならないというのは当然ですが、一つは、山本委員が言われたように、そもそも学校というのはどういう場なのかということを考えなくてはなりません。つまり、対面、人と人との関わりの中で様々なものを感じ、考え、そして、学んでいく、そういう授業で言えば対面の授業です。よく言われるのは、協働的な学びが、学校の役割として大きなものがあるということです。一方で、そうは言っ



も、先ほどから出ているように、学級閉鎖なり、学校が休業になったときにどうやって保障していくかというときに、このオンラインによる授業とオンラインによるサポートは、非常に有効であると感じています。さらに、授業でいうと、これまで以上に授業の中で効率化、よく言われる言葉でいうと、個別の最適な学びが子どもたち一人ひとりがタブレットを使うことによって、教員がそれをしっかり把握する、あるいは子どもたちの考えや感じ方をみんなで共有しながら議論を深めていく、そういうところでは、タブレットによる授業展開は、個別の最適な学びを保障することになると思います。これは両方を見ていかなくてはいけないと思います。ですので、GIGAスクール構想でタブレットが何でもできると、極論を言うと学校に行かなくてもタブレット、オンラインがあればそれでいいのではないかという議論もあり、事実、今、大学は、もうオンラインで大学に行かないで学びが続けられているというところがあります。しかしながら、やはり子どもたちは、教育の根幹は人格の完成にあると言っていますので、そういう意味では、昔から教育界でよく言われている不易と流行、松尾芭蕉が残した言葉とも言われておりますけれども、時代が変わっても変わらないもの、これを守っていくべきもの、不易、あるいは時代とともにどんどん変えて、対応していかなくちゃいけない流行、この不易と流行というのは十分踏まえながら、このGIGAスクール構想に基づく子どもたちの学びの保障という点でも、ここはしっかり押さえないといけないと思っています。また、宇田川委員の言葉で言えば、私も校長会議や学校訪問で校長先生にお願いしています。それは、GIGAスクール構想を踏まえ授業改善するのは当然です。しかし、それだけにとどまらず、いろいろなところで活用できます。ですから、不登校の子どもたちの学び、あるいは小澤委員が言った学びが定着していた子どもたちに対して、オンラインでこういう授業をやると言っていて、そこに子どもたちが放課後アクセスして、算数のある画面にアクセスして学ぶということで、様々な使い方、工夫ができると思うので、これはちゅうちょせず、いろいろなアイデアを出して、市長の理解もいただき、莫大な予算を投じてこのGIGAスクール構想が実現しようとしていますので、これはいろいろな知恵を出して有効に使っていきましょうということです。

ただ、その根本に、協働的な学びと個別最適な学び、不易と流行、これをしっかり押さえながらやっていこうということをお願いをしているところです。

○加藤由美委員 1人1台のタブレットというのは、ここに書いてあるとおり、個々の子どもに寄り添うためにあるものだと思います。今お話を聞いていて、オンライン授業こそ素顔が見えるかという気がしました。タブレットは、先生方にとっても、子どもたちにとっても初めての挑戦だと思います。時にはトラブルがあるかもしれませんが、そのときこそ、いろいろな制

限をしてしまうのではなくて、この機会だからこそ、保護者の方々にご協力やご理解をいただいで、トラブルを解決できるよう先生方、子どもたちの挑戦に力を貸していただきたいと思います。一方、コロナ禍で部活動や体育の授業で、力いっぱい体を動かしたり、体力をどのようにつけていくのかということとは、とても大きな課題ではないかと思っています。

○浅井昌志市長 私の方から1点。新しい生活様式と言われて、10か月ぐらいがたちます。時代が変わったというよりも、生き方が変わってきたのだと思います。学校のことで言えば、生活の仕方が変わった、学習の仕方が変わったのではなくて、学習の仕方が増えたのだと思います。

先ほど教育長から、不易流行という言葉がありました。今こそ不易流行が求められていると思います。もともとあったことを変えていったから、今の時代に合ったものを取り入れている、それは、これからもずっと必要になってくると思います。財源的な話では、厳しい状況にあるのも事実です。ただ、対面授業がやはり基本で、子どもたち同士の関わり方や子どもたちと先生との関わりというところで、初めて人は人間形成をされていくということでした。

やはりタブレットを使って学校でみんなの学びに利用する、家庭でタブレットを使って授業を受ける、これは、これからその状況に合わせて、より柔軟に対応できる一つの方法だと思っています。

○総合政策部長 G I G Aスクール構想の関連で、現在、回線や1人1台のタブレットなど、予算化して進んでおります。それとは別に、令和3年度の当初予算で、タブレットを掲示する、プロジェクターみたいなものですが、こちらについても予算化をさせていただきます。これを使うことによって、子どもたちが自分のタブレットを使いながら、大きな画面を見て、授業に生かせるという相乗効果を生むと思いますので、こちらを報告させていただきました。

○加藤由美委員 先日、大きな地震があって、もしかしたら停電が起きるかもしれませんが、タブレットは停電が起きた場合は、使えなくなるのでしょうか。

○指導課長 端末は、バッテリーが組み込まれておりますので、停電をしてもバッテリーで端末を動かすことができます。

○加藤由美委員 充電をしなくてはいけないということですね。充電がなくなると使えなくなるということですね。

○指導課長 はい、そのとおりです。

○浅井昌志市長 端末自体はバッテリーが入っていますから、電池があるうちは動きます。ただそれよりも、途中のところの電気が供給されなくなって、W i - F i で拾ったものを大画面

で掲示することができないという可能性があります。ただ、それは短期間の間だと思しますので、その状況の中で対応していくということになります。今、総合政策部長から皆さんに説明していただいたのは、タブレットを使って子どもたちみんなで学びを確保する、また、タブレットを使って個人での学びも対応できるようにするという趣旨の下で、議会の方で承認されれば、それはなるべく早くやっていきたいと考えています。これで、学校での授業と家でのことも対応できるような形のしつらえはできたと考えています。

○川井かすみ委員 1点、ご報告です。オンライン授業ができるようになったということで、心のバリアフリーに関しても切れ目のない学びができたというところで、11月に、越谷特別支援学校と草加小学校2年1組がオンラインで交流が行われました。写真だと、実際に越谷特別支援学校はどんな学校なのか分かりませんが、オンラインで交流することによって、車椅子や車椅子バギーが行き交うものすごい広い廊下、ナースステーションや、手足が不自由でも楽器を楽しく演奏する様子などが、オンラインだからできるというところがあったので、このような交流も今後、増えていって、ノーマライゼーションについても立ち止まることなく前進していけばいいと思いました。

○宇田川久美子委員 分からないので教えていただきたいのですが、今日のテーマが学びの保障についてということで、ご家庭で学びの保障というところをどう考えていくかということで、例えばオンラインみたいなものだと、学校の場合だとやはり平等というところがありますので、全家庭にWi-Fiの環境がなければ配信はできませんが、塾みたいなところだと、多分、いち早くウェブでの授業みたいなところに取りかかれると思うので、実際に、こうやって4月、5月、学校に行けないということも踏まえて、子どもたちが塾に通う率が高くなった、逆に、できるだけ出歩かないようにということで、塾に行く比率が下がった、何かそういったデータで確認しているものがあれば教えてください。

○指導課長 今のお話のようなデータは取ってはおりませんので、数値的な実態は把握できておりません。

○高木宏幸教育長 今の宇田川委員の質問に関連しますと、各学校の教育課程の状況ですが、小中学校とも、ほぼ4月、5月の遅れを取り戻しつつあります。学校によっては、この1月、2月は通常の単元をやっているという状況にあります。それは、いろいろな学校行事ができなくなったことで授業に充てる時間も増えている中で、今のところ教育課程は、これから大きな長期にわたる休業がない限り順調です。ただ、学力の保障といったときに、教育課程は順調に取り戻しつつあるとしても、学びという点で十分習得できているのかという課題はもちろんあ

りますので、これは、市の学力学習状況調査がありますので、そこで各学校の状況、あるいは個別の状況も分かりますので、その子どもたち、学年、クラスによって弱いところ、十分に学びが定着していないところは、この後、2月から3月にかけてサポートして定着をさせながら、4月を迎えるという仕組みはございます。

○山本好一郎委員 先ほど、ICT機器の活用を先生方が研修していくという一つの課題が述べられたと思うのですが、先ほど市長、教育長からも不易と流行という話がありましたが、もともと日本には、草加市にも優れた教育実践があります。この優れた教育実践と新しいICTとのベストミックスの中で、また新しいものをつくれるという基本があると思います。

そして、このGIGAスクール構想もそうですが、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのないように、みんな違いがあり、それを生かしていく、その優れた教育実践は草加にあるわけですから、くれぐれも研修の中で、特にベテランの方などが自信を失うことのないように、それをミックスさせることこそ重要ではないかと感じました。

○浅井昌志市長 まさにそのとおりだと思います。教育長には、その趣旨で頑張ってくださいと思います。限られた時間の中で様々な観点からご意見をいただきました。

新型コロナウイルスについては、いまだ感染拡大が懸念されているところではありますが、行政の役割は市民の安全と安心をどう担っていくのかというところを考えることだと思います。これからも新しい生活様式を踏まえて、試行錯誤を繰り返しながらの対応になるかと思いますが、教育委員会と力を合わせて取り組んでいきたいと考えております。今後も引き続き、草加の子どもたちのためにお力添えをいただければと思います。

---

○総合政策部長 浅井市長、教育長・教育委員の皆様、貴重なご意見等いただき、誠にありがとうございました。

本日いただきました様々なご意見を踏まえまして、今まで以上に市長部局と教育委員会とで課題解決に向け、連携、協力しながら取り組んでまいりたいと存じます。

---

#### ◎閉会の宣言

○総合政策部長 以上をもちまして、総合教育会議を終了させていただきます。

皆様、本日は、お忙しい中御出席をいただき、誠にありがとうございました。

午後1時40分 閉会

市長 河野 浩志

教育長 高木 宏幸